

La vida de HONDURAS 土屋晶子さんからのお便り

スペイン語で「ホンジュラスでの生活」という意味です。 Vol.09

土屋晶子さんは平成18年6月から青年海外協力隊隊員として、中米のホンジュラス共和国で活動しています。



コパン遺跡の「球技場」



マヤ女性たちに対する文化講習会

¡Hola todos! ¿Cómo están? こんにちは、みなさん！お元気ですか？

今回は、私の同期で考古学隊員の佐々木毅さんに、マヤ文明とホンジュラスでの考古学の仕事についてお話していただきました。

「マヤ文明の遺跡」道路工事で破壊！

ホンジュラスのある中米には、かつて「マヤ」と呼ばれる文明が存在していました。それはいまから遡ること約1500年以上前、日本でいえば古墳時代から平安時代にあたる時期に最も栄えた文明です。マヤ文明の特徴としては、極めて正確な暦をもっていたこと、漢字に近いシステムを持つマヤ象形文字を使用していたこと、石造ピラミッドなどを建造していた都市文明であったことなどが有名です。また地域全体を統一した王朝はなく、多いときには60～70の王国が各地に存在していました。これは日本の戦国時代が常に続いていたイメージともいえます。

そのかつての王国のひとつがホンジュラスにもあります。それは

コパンとよばれる世界遺産にも登録されている遺跡です。マヤ文明の中でも非常に重要な遺跡であると同時に、海外からの観光客も多数訪れるホンジュラス有数の観光地でもあります。コパン以外にも国内には多くの遺跡がありますが、一般に「遺跡＝保存すべき」という認識が低いために、道路工事や農作業などに伴う人為的破壊も抑えきれないのが現状です。こうしたことは日本でも起きていますが、ホンジュラスでは考古学者の数が少ないために破壊を防ぐための調査があまり実施できていないことや、法整備が行き渡っていない点が問題です。こうした文化財保護の問題に対して日本が協力していくことも国際協力のひとつになり

ます。

私はホンジュラスの文化・歴史の調査や保護を担う、日本の文化庁にあたる機関に所属しています。通常の仕事は、破壊の危険がある遺跡の調査や、発掘された土器などの分析になりますが、その他、遺跡の周辺に住んでいるマヤ民族などの人々に対する文化振興も行っています。自文化を良く知り、誇りを持つことによって、自分たちの手で守ろうと意識できるようになることが、ひいては文化財の保護にもつながるからです。また現在では、文化財を単に保護するだけではなく、観光などにも上手に活用していく方法を考えながら幅広く活動をしています。

介護のとびら

問い合わせ先
地域包括支援センター 電話 31-2510

今年度も介護予防事業を実施します

平成18年度の改正で、介護保険制度は「予防重視型システムへの転換」が行われ、介護を必要としない高齢者に対して「介護予防事業」が提供されるようになりました。自立した生活をできるだけ長く続けるために行われるこの事業には、介護保険料が使われています。

昨年度、町は2つの介護予防事業を行い、多くの方に楽しく介護予防に取り組んでいただきました。参加者の意見や反省をふまえて、今年度も引き続き実施します。対象となる方は積極的にご参加ください。

介護予防教室

60歳以上の元気な高齢者を対象とした介護を予防しながら生活していくための教室です。昨年度は10月から半年間、毎月2回開催し、毎回約60人の参加がありました。今年度は会場をエコールみよたに移し、要望が多かった「運動」と「認知症の予防」に重点を置いて4月から実施する予定です。詳細は決まり次第第広報などでお知らせします。



楽しく介護予防をしましょう
(H19年度介護予防教室)

通所型介護予防事業

生活機能に低下がみられ、将来介護が必要となる可能性が高いと町が認定した「特定高齢者」を対象に、運動を中心とした介護予防プログラムを提供しています。昨年度は約60人がそれぞれの目標に向けて介護予防に取り組み、姿勢がよくなる、歩行速度があがるなどの効果がみられました。今年度は、新しく始まる「特定健診」と連携をとりながら、さらに多くの方に介護予防に取り組んでいただけるよう実施していきます。

ようこそ

町長室へ

茂木 祐司



地球温暖化が叫ばれている今日この頃ですが、世界各地で異常気象による様々な被害が発生しています。御代田町でも昨年に続いて今年の冬は暖かな日が続くのかと思っていました。1月になってから雪が降り続き、気温が下がって寒さが厳しい日が続いたことから、町の除雪のための経費も大幅に伸びています。町の除雪経費は、当初の予算1,100万円に対して、まだ最終的ではありませんがプラス600万円の1,700万円になりそうです。

町民の皆さまにとっても家の回りの雪がきなどでご苦労いただいたことと思います。

また、ガソリンや灯油代が大幅に値上がりしたことで暮らしの面でもたいへんな思いをされたのではないのでしょうか。

町では、ひとり暮らしの高齢者の方々などに福祉灯油代として1世帯5,000円の支給事業をおこないましたが、多くの方々から「助かりました」とお礼の言葉をいただきました。

当町は、自然環境に恵まれた大変に住みやすい町です。その一方で昨年の台風9号による大規模な災害に加えて今回の除雪費の大幅な増額など、町民の皆さまの暮らしを守る上で自然災害などの予測がでない部分をかかえて行政運営をすすめておりますことを、この機会にぜひともご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

町長直通

Fax 32-3141 メールアドレス moteki-y@town.miyota.nagano.jp